

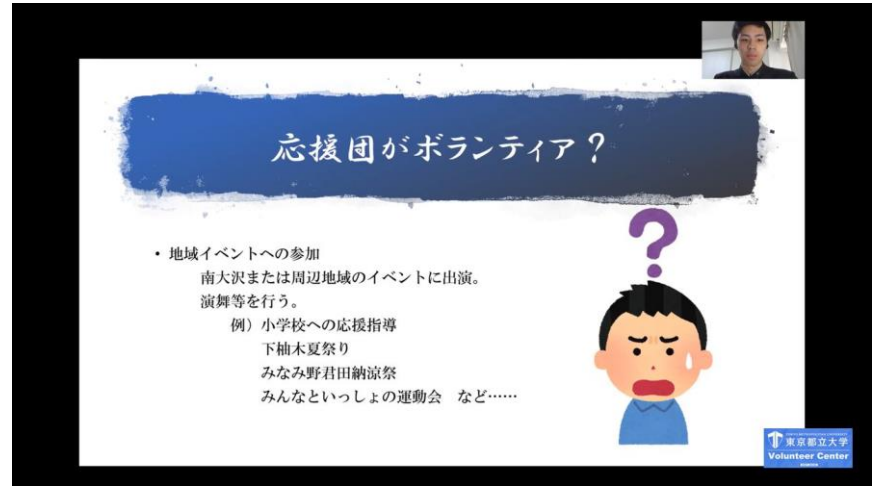
オンライン ボランティア 相談室

～学内登録団体 合同説明会～

2020年6月3日, 4日, 5日

報告

作成者：石川 陸矢
(学生コーディネーター)



オンラインボランティア相談室を開催！

6月3日（水）から5日（金）にかけて、「オンラインボランティア相談室」を実施しました。昨年度も、新入生を主な対象として、新学期が始まる4月に「ボランティア相談室」を実施しましたが、今年は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、オンラインツール（ZOOM）を活用して、オンライン上で実施しました。

学内団体と新入生の現状

本企画はこれまで、学生コーディネーターがボランティアセンターに入室した学生の相談にのることを通して、ボランティア活動に対する悩みや不安を軽減したり、学生のニーズに合ったボランティア活動を紹介したりすることで、実際に活動につなげることを目的として実施してきました。

しかし現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により、本学の団体が課外活動を自粛している状況です。さらに、ボランティアセンターの学内登録団体の情報共有を目的に、5月5日に実施した「ZOOM学内団体ミーティング」では、複数の団体から新歓活動をする機会が少なくなっているということをお聞きしました。団体の活動を発信する機会が失われたことにより、新入生も情報収集ができず困っている状況なのではないかと考えられます。これまでのようにボランティアセンターに入室してもらうということはできませんが、様々な声をもとに、新歓活動に力を入れたい学内団体と「ボランティア活動をしてみたいけど、少し不安」という新入生に対して、団体の方と新入生が直接交流することができる機会を提供することを目的として、「オンラインボランティア相談室」を実施することにしました。

当日の様子

1日目は「いきものサークル！東京」、2日目は「児童文化研究会」「応援団リーダー部」、3日目は「東日本きずなプロジェクト」「SCOK」が参加し、それぞれ10～20人ほどの方が話を聞きに来てくださいました。昼休みの時間にオンラインで開催したこともあり、短い時間ではありましたが、多くの方にご参加いただくことができました。

各団体による10分ほどの発表では、発表者の経験とともに、活動のどの部分が魅力的なのかや、団体に加入するとどんないことがあるのかなど、普段なかなか聞けないような話を聞くことができました。オンラインでの発表のため、不慣れなことが多い中、どの団体もしっかりと準備をされていて、対面での発表と引けをとらないほど素敵な発表でした。

発表後は質疑応答の時間をとり、直接団体の方と交流しました。団体に対して様々な質問が挙がり、時間ギリギリまで回答をしていただくなど、とても盛り上がりました。この質疑応答では、団体に対する知識が深まるだけでなく、チャット機能を活用して質問を募集したり、ホームページのURLを共有してアクセスを促したりするなど、オンラインならではの方法を存分に活かすことができました。

参加者の声

- ・オンラインということもあってサークルごとの雰囲気が分かりづらい部分もあったが、短時間でそれぞれの活動について知ることができたので良かった。
- ・気になっていたサークルの活動内容を知ることができてよかった。また、目当てではなかった団体の活動も知ることができ、選択肢が増えて良かった。
- ・詳しい活動内容を知ることができ、参考になりました。

最後に

今回は、オンラインでの実施とはなりませんが、オンラインだからこそできる方法により、対面とは異なる良さがあったのかなと感じています。これをきっかけに、参加者の方々がボランティア活動や学内登録団体の活動に興味を持っていただけたらいいと思います。まだまだ人が密集するイベントができない状況ではありますが、この状況だからこそ必要とされていることもありますし、オンラインでしかできないこともあります。活動が制限されてはいますが、これからもできることを探して、様々な活動をしていきたいと思っています。

学生コーディネーターが作成した 広報チラシ

